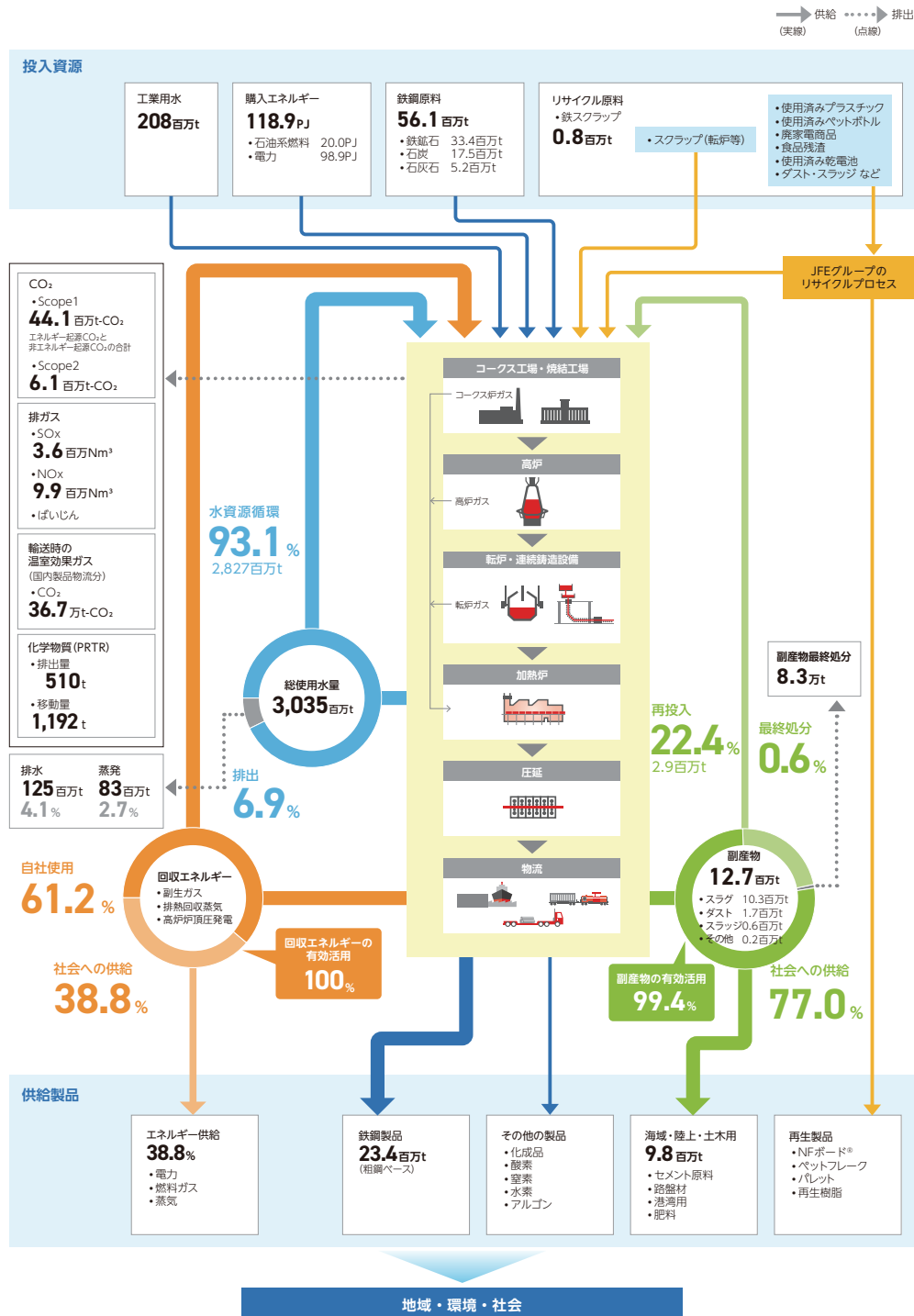


環境データ

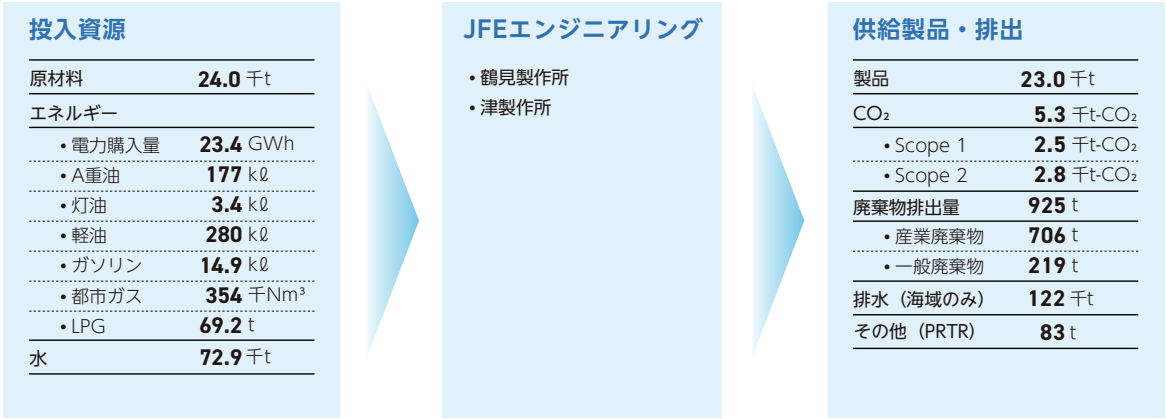
マテリアルフロー

JFEスチールは、製鉄プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用を進めています。生産工程で使用する水は93.1%を循環利用しており、鉄鋼スラグなどの副産物は99.4%を資源化しています。生産工程で生成する副生ガスは鋼材加熱用や自家発電用の燃料としているほか、社会に供給するエネルギーとして100%有効に活用しています。

■ JFEスチールのマテリアルフロー(単体)



■ JFEエンジニアリングのマテリアルフロー(本社・製作所)



対象範囲の表記：

JFEグループ(全社)、JFEスチールグループ(ST Gr)、JFEスチール(ST)、JFEエンジニアリンググループ(EN Gr)、JFEエンジニアリング(EN)、JFE商事グループ(SH Gr)、JFE商事(SH)

環境関連指標

分野	事業会社	目標	2023年度の 実績・関連ページ
温室効果ガス・エネルギー	ST	・2024年度末のCO ₂ 排出量を2013年度比で18%以上削減	P.237-238
	EN	・自社工場、オフィスにおけるCO ₂ 排出量の削減 2023年度： 2013年度比40%削減 ・CO ₂ 削減貢献量(2023年度)：1,150万t/年	P.237-238,240
	SH	・再生可能エネルギー由来の電力調達によるCO ₂ 排出量削減2022年度国内CO ₂ 排出量：2019年度比10%削減(2021年度から2024年度までの4年間で毎年2019年度比5%削減)	P.237-238
化学物質	ST	・VOC排出量：2000年比30%減(1,078t以下) ・ベンゼン排出量：1999年比80%減(46t以下) ・ジクロロメタン排出量：1999年比40%減(46t以下)	P.244
資源活用	ST	副産物の再資源化率：99%以上	P.246
	EN	建設現場でのリサイクル率 ・がれきリサイクル率：99.5%以上 ・汚泥リサイクル率：95.0%以上 ・産廃リサイクル率：85.0%以上 オフィス資源物再生資源化率 ・横浜本社：98.0%以上	P.247-248
	SH	鉄スクラップのグローバルな資源循環 ・2020年度取り扱い数量以上 (2024年度目標：2020年度比5%増)	P.246
水使用	ST	水資源の高効率利用の維持 循環利用率：90%以上	P.249

温室効果ガス・エネルギー

Scope別CO₂排出量

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
Scope1・2 合計※1※2	全社	百万 t-CO ₂	60.4	53.1	59.0	56.1	54.7
	ST Gr	百万 t-CO ₂	60.0	52.6	58.6	55.7	54.2
	ST	百万 t-CO ₂	56.0	49.1	54.7	52.3	50.1
	ST子会社	百万 t-CO ₂	3.9	3.5	3.9	3.4	4.1
	EN Gr	百万 t-CO ₂	0.403	0.484	0.387	0.422	0.482
	EN	百万 t-CO ₂	0.0168	0.0141	0.0103	0.0081	0.0081
	EN子会社	百万 t-CO ₂	0.386	0.470	0.377	0.414	0.474
	SH Gr	百万 t-CO ₂	0.0353	0.0296	0.0319	0.0316	0.0311
	SH	百万 t-CO ₂	0.0005	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004
	SH子会社	百万 t-CO ₂	0.0348	0.0292	0.0315	0.0311	0.0307
Scope1※3※4	全社	百万 t-CO ₂	52.9	46.6	51.9	49.0	47.4
	ST Gr	百万 t-CO ₂	52.5	46.2	51.5	48.6	47.0
	ST	百万 t-CO ₂	49.8	43.8	48.8	46.4	44.1
	ST子会社	百万 t-CO ₂	2.7	2.4	2.7	2.2	2.9
	EN Gr	百万 t-CO ₂	0.361	0.442	0.345	0.395	0.459
	EN	百万 t-CO ₂	0.0038	0.0024	0.0024	0.0029	0.0038
	EN子会社	百万 t-CO ₂	0.357	0.439	0.343	0.393	0.455

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
Scope2 ^{※6}	全社	百万t-CO ₂	7.6	6.4	7.1	7.1	7.3
	ST Gr	百万t-CO ₂	7.5	6.4	7.0	7.1 ^{※5}	7.3
	ST	百万t-CO ₂	6.3	5.3	5.8	5.9	6.1
	ST子会社	百万t-CO ₂	1.2	1.1	1.2	1.1 ^{※5}	1.2
	EN Gr	百万t-CO ₂	0.0422	0.0424	0.0418	0.0263	0.0232
	EN	百万t-CO ₂	0.0129	0.0116	0.0079	0.0052	0.0043
	EN子会社	百万t-CO ₂	0.0293	0.0308	0.0339	0.0211	0.0189
	SH Gr	百万t-CO ₂	0.0353	0.0296	0.0319	0.0316	0.0311
	SH	百万t-CO ₂	0.0005	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004
	SH子会社	百万t-CO ₂	0.0348	0.0292	0.0315	0.0311	0.0307
CO ₂ 原単位(分子：Scope 1・2合計、分母：売上高／売上収益)	全社	t-CO ₂ /億円	1,619	1,644	1,352	1,057	1,057
Scope3 ^{※7 ※8}	全社	千t-CO ₂ e	16,382	14,369	20,778	23,184	22,701
カテゴリー 1 購入した製品・サービス	全社	千t-CO ₂ e	12,557	11,026	17,244	19,750	19,118
カテゴリー 2 資本財	全社	千t-CO ₂ e	1,401	1,226	1,221	1,166	1,239
カテゴリー 3 スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	全社	千t-CO ₂ e	728	671	717	736	760
カテゴリー 4 輸送、配送(上流)	全社	千t-CO ₂ e	489	419	454	450	440
カテゴリー 5 事業から出る廃棄物	全社	千t-CO ₂ e	57	45	58	62	133
カテゴリー 6 出張	全社	千t-CO ₂ e	4	4	5	4	5
カテゴリー 7 雇用者の通勤	全社	千t-CO ₂ e	49	51	59	49	14
カテゴリー 15 投資	全社	千t-CO ₂ e	1,097	927	1,022	967	993

- ※1 集計範囲：総計75社
 - JFEスチール、国内外主要子会社26社
 - JFEエンジニアリング、国内外主要子会社11社
 - JFE商事、国内外主要子会社35社
- ※2 2021年度より、JFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事の主要子会社の集計範囲を拡充
- ※3 JFEスチールの非エネルギー起源CO₂排出量を含む
- ※4 JFEスチール国内主要子会社3社、JFEエンジニアリング国内主要子会社1社の非エネルギー起源CO₂排出量を含む
- ※5 海外子会社の排出係数を見直しました
- ※6 2023年度の購入電力のCO₂排出係数：
 - JFEスチール：日本鉄鋼連盟のカーボンニュートラル行動計画における2022年度購入電力のCO₂排出係数
 - JFEスチールの国内連結子会社、JFEエンジニアリンググループ、JFE商事グループ：各年度の電気事業者別調整後排出係数
 - 海外：IEAの最新の電力使用に伴うCO₂排出係数
- ※7 集計範囲：

〈カテゴリー1,2,3,4,5〉JFEスチール、JFEスチール国内主要子会社21社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリング国内主要子会社1社、JFE商事

〈カテゴリー6,7〉JFEスチール、JFEスチール国内主要子会社21社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリング国内外主要子会社12社、JFE商事

〈カテゴリー15〉ジャパンマリンユナイテッド、JFEスチールの持分法適用会社10社(国内7社、海外3社)
- ※8 出典：環境省 グリーン・バリューチェーンプラットフォーム等

■ その他の温室効果ガスデータ

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
エネルギー起源CO ₂	CO ₂ 排出量 (Scope1・2合計)	ST Gr	百万t-CO ₂	57.4	50.2	55.8	53.1	51.7
		ST	百万t-CO ₂	54.2	47.3	52.6	50.4	48.3
		ST子会社	百万t-CO ₂	3.2	2.9	3.2	2.7	3.4
		ENG _{※1※2}	千t-CO ₂	67.5	62.5	61.4	45.2	36.3
	Scope1	ST	百万t-CO ₂	47.9	41.9	46.8	44.5	42.3
	CO ₂ 原単位 (分母：粗鋼生産量)	ST	t-CO ₂ /t-steel	2.03	2.08	2.03	2.09	2.06
非エネルギー起源CO ₂ 排出量		ST Gr ^{※3}	百万t-CO ₂	2.65	2.40	2.74	2.59	2.48
		ST	百万t-CO ₂	1.89	1.82	2.05	1.93	1.79
		ST子会社	百万t-CO ₂	0.76	0.58	0.69	0.66	0.69
		EN子会社 ^{※4}	百万t-CO ₂	0.34	0.42	0.33	0.38	0.45

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
CO ₂ 以外の 温室効果ガス排出量	全社	千 t-CO ₂ e	103.3	96.1	103.0	55.2	117.9	
	メタン (CH ₄)	ST Gr	千 t-CO ₂ e	72.9	68.3	74.6	35.4	78.5
		ST	千 t-CO ₂ e	72.9	68.3	74.6	35.4	78.5
		ST 子会社	千 t-CO ₂ e	—	—	0.005	0.005	0.005
	N ₂ O	全社	千 t-CO ₂ e	30.4	27.9	28.5	19.8	39.4
		ST Gr	千 t-CO ₂ e	20.0	15.5	17.7	7.8	37.1
		ST	千 t-CO ₂ e	20.0	15.5	17.7	7.8	37.1
		ST 子会社	千 t-CO ₂ e	—	—	0.004	0.004	0.004
		EN 子会社 ^{※4}	千 t-CO ₂ e	10.4	12.4	10.8	12.0	2.3
輸送時の温室効果ガス 排出量 ^{※5}	ST Gr	万t-CO ₂	65	57	63	61	59	
	ST	万t-CO ₂	40	34	38	37	37	
	ST 子会社	万t-CO ₂	25	23	25	24	22	
CO ₂ 削減貢献相当量 ^{※6}	EN Gr	万t-CO ₂ /年	413	965	1,057	1,114	1,153	
	バイオマス 発電	EN Gr	万t-CO ₂ /年	212	274	286	294	295
	廃棄物発電	EN Gr	万t-CO ₂ /年	153	337	340	372	380
	その他 ^{※7}	EN Gr	万t-CO ₂ /年	48	354	357	359	384
	リサイクル (フロン回収、 創エネ含む)	EN Gr	万t-CO ₂ /年	—	—	74	89	94

※1 集計範囲：JFEエンジニアリング、国内外主要子会社11社

※2 2021年度より、JFEエンジニアリングの主要子会社の集計範囲を拡充

※3 集計範囲：JFEスチール、国内主要子会社3社

※4 J&T環境：JFEエンジニアリングの国内主要子会社

※5 集計範囲：JFEスチールと荷主として省エネ法報告義務のある国内主要子会社9社

※6 集計範囲：

- ・2019年度までは、JFEエンジニアリングの国内事業のみ
- ・2020年度は、JFEエンジニアリングの国内外事業、ドイツの子会社スタンダードケッセル・バウムガルテ (SBG) を含む
- ・2021年度より、JFEエンジニアリングの国内外事業、J & T環境、JFEアーバンリサイクル、ドイツの子会社スタンダードケッセル・バウムガルテ (SBG) を含む

※7 その他：消化ガス、地熱、太陽光、風力、廃熱回収、燃料転換、エネルギーサービス、ロジスティクス商品

■ エネルギー消費

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
エネルギー消費量・原単位	消費量	全社	PJ	670	592	654	627	612
		ST Gr	PJ	669	591	652	625	611
		ST	PJ	620	545	602	581	557
		ST 子会社	PJ	48.8	45.2	49.6	43.9	53.9
		EN Gr	PJ	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2
		SH Gr	PJ	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7
	原単位(粗鋼生産量)	ST	GJ/t-steel	23.2	24.0	23.3	24.1	23.7
	消費量(原油換算)	EN	kℓ	8,788	8,000	7,636	7,772	7,756
	原単位前年度比率	EN	%	80.7	91.0	95.5	107.9	94.3
回収エネルギー	外部供給率	ST	%	39	38	38	37	39
	自社再利用率	ST	%	61	62	62	63	61

■ モーダルシフト化

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
輸送全体	船舶＋鉄道	ST	%	59.6	58.4	58.3	59.0	57.9
	トラック	ST	%	40.4	41.6	41.7	41.0	42.1
輸送距離500km以上	船舶＋鉄道	ST	%	90.9	91.6	90.0	92.1	93.6
	トラック	ST	%	9.1	8.4	10.0	7.9	6.4

算出方法：輸送量(国内、製品、半製品、のべ数)での割合

温室効果ガス・エネルギー（補足データ）

■ JFEスチールグループ子会社のエネルギー起源CO₂排出量・エネルギー消費量（2023年度）

会社名	CO ₂ 排出量(単位：千t-CO ₂)	エネルギー消費量(単位：PJ)
JFEミネラル [※]	1,724.7	9.83
JFE条鋼	533.3	9.39
JFEケミカル	224.8	4.15
JFE物流	151.3	2.26
JFE鋼板	48.3	1.01
JFEプラリソース	20.0	0.37
水島リバーメント	8.1	0.11
JFEコンテナナー	9.6	0.19
Jーロジテック	7.6	0.11
ガルバテックス	3.7	0.08
JFE建材	8.6	0.16
JFE溶接鋼管	8.3	0.15
JFEテクノワイヤー	3.7	0.08
JFE精密	3.5	0.07
ケープラシート	4.7	0.07
JFEライフ	5.6	0.10
千葉リバーメント	6.0	0.12
JFE大径鋼管	2.7	0.06
ジェコス	3.2	0.06
JFE鋼材	3.1	0.06
JFEフェライト	3.6	0.05
海外(5社)	1,288.0	16.38
合計	4,072.5	44.86

※ 2022年4月に水島合金鉄(株)とJFEマテリアル(株)は、JFEミネラル(株)に吸収合併されたため、2021年度よりCO₂排出量はJFEミネラル(株)に計上

■ JFEエンジニアリンググループ子会社のエネルギー起源CO₂排出量・エネルギー消費量(2023年度)

会社名	CO ₂ 排出量(単位：千t-CO ₂)	エネルギー消費量(単位：PJ)
J&T環境	38.5	0.8
富士化工	1.7	0.030
北日本機械	0.9	0.015
東北ドック	0.8	0.014
あすか創建	0.8	0.012
JFEパイプライン	0.5	0.007
JFEテクノス	0.1	0.002
JFEプロジェクトワン	0.1	0.002
J&Mスチールソリューション	0.4	0.008
合計	43.9	0.893

※ 2023年度実績より、(株)JファームのCO₂排出量はJFEエンジニアリングに含まれます
 ※ 2023年度実績より、JFE環境サービス(株)のCO₂排出量はJ&T環境(株)に含まれます

化学物質

■ 大気への排出

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
SOx排出量 ^{※1}	ST Gr	百万Nm ³	4.3	3.3	3.5	3.3	3.6
	ST	百万Nm ³	4.3	3.3	3.5	3.3	3.6
	ST子会社	百万Nm ³	0.04	0.03	0.03	0.04	0.04
NOx排出量 ^{※2}	ST Gr	百万Nm ³	11.3	10.4	11.4	10.2	10.1
	ST	百万Nm ³	11.1	10.3	11.2	10.1	9.9
	ST子会社	百万Nm ³	0.17	0.14	0.18	0.15	0.16

※1 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社11社
 ※2 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社11社

■ 水域への排出

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
COD (化学的酸素要求量)	全社 ^{※1}	t/日	3.4	3.1	3.1	3.1	2.6
	ST	t/日	3.2	2.9	2.9	2.8	2.3
	ST子会社	t/日	0.15	0.17	0.23	0.25	0.27
	EN ^{※2}	kg/日	8.4	8.7	8.4	6.6	4.8

※1 集計範囲：総計12社 (JFEスチール、JFEスチール国内連結子会社10社、JFEエンジニアリング)

※2 年間の最大値を報告しています

■ PRTR届出物質

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
PRTR 届出物質 ^{※1 ※2}	排出量	全社 ^{※3}	t	918	754	827	750	917
		ST Gr	t	766	596	672	609	790
		ST	t	481	341	380	366	510
		ST子会社	t	285	255	292	243	280
		EN Gr	t	152	158	155	141	126
		EN	t	107	121	116	103	101
		EN子会社	t	45.4	36.7	39.3	37.8	25.1
	移動量	全社 ^{※3}	t	7,866	5,949	9,845	12,809	11,217
		ST Gr	t	7,832	5,910	9,811	12,779	11,193
		ST	t	1,865	1,694	1,378	1,278	1,192
		ST子会社	t	5,967	4,216	8,433	11,501	10,001
		EN Gr	t	34	39	34	30	23
		EN	t	29	26	30	26	19
		EN子会社	t	5.4	12.5	4.4	4.4	3.9

※1 集計範囲：

- JFEスチール、国内連結子会社15社
- JFEエンジニアリング、国内連結子会社4社

※2 ダイオキシン類を除く

※3 JFE商事はPRTR届出に該当しないため、報告対象外となります

化学物質(補足データ)

■ JFEスチールグループ子会社のSOx・NOx排出量(2023年度)

会社名	SOx排出量(単位：Nm ³)	NOx排出量(単位：Nm ³)
JFEミネラル	15,880	95,960
千葉リバーメント	85	695
水島リバーメント	0	647
JFE精密	746	186
JFEプラリソース	24	14
JFE条鋼	9,534	11,324
JFE建材	29	2,062
JFE建材フェンス	0	0
JFE鋼板	1,354	12,890
JFEコンテナ	93	0
JFE溶接鋼管(旧JFE鋼管)	0	0
JFE大径鋼管	0	0
ガルバテックス	0	454
JFEテクノワイヤー	0	0
JFE鋼材	0	0
ジェコス	0	0
JFE物流	0	0
Jーロジテック	0	0
JFEケミカル	9,471	31,113
ケーブラシート	168	0
JFEライフ	0	0
合計	37,383	155,345

資源活用

■ 投入資源・供給製品

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
投入資源	鉄鋼原料*	ST	百万t	64.3	56.2	63.4	60.4	56.1
	鉄鉱石*	ST	百万t	38.7	32.9	37.6	35.7	33.4
	石炭	ST	百万t	20.3	18.1	19.9	19.1	17.5
	石灰石	ST	百万t	5.3	5.2	5.9	5.6	5.2
	リサイクル原料 (鉄スクラップ)	ST	百万t	1.1	0.8	1.2	0.9	0.8
	原材料	EN	千t	39.4	36.9	38.6	27.9	24.0
供給製品	鉄鋼製品	ST	百万t	26.7	22.8	25.9	24.1	23.4
	エンジニアリング製品	EN	千t	36.6	34.7	37.4	27.0	23.0

※ 2019年度から2022年度まで数値を遡及して修正

■ 副産物・廃棄物

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
副産物	発生量* ¹	ST Gr	百万t	15.6	13.9	14.4	14.1	13.3
		ST* ²	百万t	15.1	13.4	13.9	13.5	12.7
		ST子会社	百万t	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6
	所内リサイクル量	ST	百万t	5.0	3.3	3.3	2.9	2.9
	所内リサイクル率	ST	%	32.9	24.9	24.0	21.7	22.4
	排出量* ¹	ST Gr	百万t	10.3	10.2	10.8	10.8	10.1
		ST	百万t	10.2	10.1	10.6	10.6	9.9
		ST子会社	百万t	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
	地域社会での利用量	ST	百万t	10.1	10.0	10.5	10.5	9.8
	地域社会での利用率	ST	%	66.8	74.8	75.7	77.8	77
	最終処分量* ¹	ST Gr	百万t	0.074	0.060	0.094	0.167	0.180
		ST	百万t	0.043	0.037	0.042	0.073	0.083
		ST子会社	百万t	0.031	0.023	0.052	0.094	0.097
	再資源化率	ST	%	99.7	99.7	99.7	99.5	99.4

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
廃棄物	排出量※3※4	EN Gr	千t	211.0	159.1	249.2	223.7	193.1
	オフィス部門	EN	t	367.1	329.2	235.3	259.4	219.4
		横浜本社	t	299.0	256.9	156.7	195.0	157.2
		津製作所	t	68.2	72.3	78.6	64.4	62.2
	生産部門	EN	t	1,340.5	1,072.3	803.0	821.4	705.8
		鶴見製作所	t	653.8	519.8	364.7	461.6	338.3
		津製作所	t	686.7	552.5	438.3	359.8	367.5
	工事部門	EN	t	145,397.7	97,387.9	190,242.3	162,747.2	134,157.5
	子会社	EN子会社	t	63,876.7	60,296.7	57,960.3	59,841.4	57,990.0
	リサイクル率 (オフィス部門)	EN	%	97.3	96.8	96.1	96.4	92.1
		横浜本社	%	98.8	99.1	98.5	98.4	97.7
		津製作所	%	85.2	87.2	88.4	85.7	87.1
	リサイクル率 (生産部門)	EN	%	68.0	48.8	46.8	54.0	50.4
		鶴見製作所	%	79.4	72.0	68.3	75.9	60.9
		津製作所	%	60.9	33.8	28.0	25.0	42.3
	リサイクル率 (工事部門)	EN	%	97.1	98.3	98.6	99.3	97.5
	最終処分量	EN	t	4,489.3	2,011.6	3,035.6	1,456.7	3,497.5
	オフィス部門	EN	t	8.5	9.1	7.4	7.7	7.4
		横浜本社	t	3.3	2.1	2.2	2.9	3.0
		津製作所	t	5.2	7.0	5.2	4.8	4.4
	生産部門	EN	t	312.6	351.2	322.6	287.7	235.2
		鶴見製作所	t	77.3	75.2	89.4	85.9	80.5
		津製作所	t	235.3	276.0	233.2	201.8	154.7
	工事部門	EN	t	4,168.2	1,651.3	2,705.6	1,161.3	3,254.8
	再資源化率	EN	%	95.8	95.9	96.5	97.4	96.1

※1 集計範囲：JFEスチール、国内連結子会社22社

※2 JFEスチールの副産物は、主に海域・陸上・土木用材として、再利用

※3 集計範囲：JFEエンジニアリング、国内連結子会社9社

※4 2019年度からJFEエンジニアリングのオフィス部門、生産部門の廃棄物発生量を含む

■ JFEエンジニアリング(現地工事部門)の廃棄物

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
がれき	発生量	EN	t	113,637	78,100	159,309	141,888	119,708
	リサイクル率	EN	%	98.6	99.4	99.4	99.9	97.8
	最終処分量	EN	t	1,533	484	940	173	2,632
汚泥	発生量	EN	t	17,225	12,399	24,350	14,806	9,679
	リサイクル率	EN	%	98.8	98.9	96.9	99.0	99.3
	最終処分量	EN	t	205	135	683	130	56
がれき・汚泥を 除く産業廃棄物	発生量	EN	t	13,788	6,678	6,583	6,054	4,771
	リサイクル率	EN	%	85.0	85.4	81.6	84.4	87.1
	最終処分量	EN	t	1,923	868	1,083	858	566

■ JFE商事の紙消費

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
紙(コピー用紙)消費量		SH	箱	4,675	3,021	3,033	2,860	2,934
		東京	箱	2,516	1,333	1,471	1,376	1,396
		大阪	箱	399	310	337	351	391
		名古屋	箱	293	157	154	177	162
		支店	箱	1,467	1,221	1,071	956	985

水使用

■ 取水・排水

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
水受入量 ^{※1}	全社	百万t	242	237	246	240	226
	ST Gr	百万t	241	236	245	239	224
	ST	百万t	221	215	226	220	208
	ST子会社	百万t	19.8	20.9	18.7	18.2	16.1
	EN Gr	百万t	1.410	1.296	1.141	1.35	1.24
	EN	百万t	0.106	0.072	0.063	0.064	0.073
	EN子会社	百万t	1.304	1.223	1.078	1.28	1.17
	SH Gr	百万t	0.149	0.160	0.154	0.154	0.145
	SH	百万t	—	—	—	—	—
	SH子会社	百万t	0.149	0.160	0.154	0.154	0.145
排水量 ^{※2}	ST Gr	百万t	143	141	144	143	139
	ST	百万t	126	123	128	128	125
	ST子会社	百万t	17.0	18.3	15.6	15.4	13.9
	EN	百万t	0.126	0.157	0.132	0.122	0.122
水総使用量 ^{※2}	ST Gr	百万t	3,616	3,331	3,442	3,475	3,242
	ST	百万t	3,323	3,066	3,207	3,242	3,035
	ST子会社	百万t	293	265	235	233	207
蒸発量	ST	百万t	95	92	98	92	83
排水・蒸発率	ST	%	6.6	7.0	7.0	6.8	6.9
循環量 ^{※2}	ST Gr	百万t	3,375	3,096	3,197	3,237 ^{※4}	3,017
	ST	百万t	3,102	2,851	2,981	3,022 ^{※4}	2,826
	ST子会社	百万t	273	245	216	215	191
循環率 ^{※2※3}	ST	%	93.4	93.0	93.0	93.2	93.1
	ST子会社	%	93	92	92	92	92

※1 集計範囲：

- JFEスチール、国内連結子会社22社
- JFEエンジニアリング単体、国内連結子会社6社
- JFE商事の国内外連結子会社33社

※2 集計範囲：JFEスチール、国内連結子会社22社

※3 工業用水循環率(%)＝(総使用量－工業用水受入量)／総使用量×100

※4 精度向上のため、数値を遡及して修正

■ 取水先・排水先内訳

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総水受入量	事業会社2社※	百万t	221.0	214.8	226.1	220.4	208.4
河川・湖		百万t	0	0	0	0	0
地下水		百万t	0	0	0	0	0
工業用水・上水道		百万t	221.0	214.8	226.1	220.4	208.4
海		百万t	0	0	0	0	0
雨水		百万t	0	0	0	0	0
その他の取水源		百万t	0	0	0	0	0
総排水量	事業会社2社※	百万t	126.8	123.6	128.8	128.5	125.8
海洋		百万t	126.3	123.1	128.3	128.1	125.4
地表水		百万t	0	0	0	0	0
地下／井戸		百万t	0	0	0	0	0
敷地外の水処理		百万t	0.4502	0.4796	0.4709	0.4300	0.4158
有益／その他の用途		百万t	0	0	0	0	0
その他の放流先		百万t	0	0	0	0	0

※ 集計範囲：JFEスチール、JFEエンジニアリング

水使用(補足データ)

■ JFEスチールグループ子会社の水受入量・排出量(2023年度)

会社名	受入量(単位：千t)	排水量(単位：千t)
JFEミネラル	5,566	5,530
千葉リバーメント	12	12
水島リバーメント	10	10
JFE精密	140	140
JFEプラリソース	21	21
JFE条鋼	4,583	2,808
JFE建材	150	147
JFE建材フェンス	21	21
JFE鋼板	525	525
JFEコンテナー	251	251
JFE溶接鋼管	38	38
JFE大径鋼管	2	2
ガルバテックス	528	528
JFEテクノワイヤー	108	108

会社名	受入量(単位：千t)	排水量(単位：千t)
JFE鋼材	13	13
ジェコス	66	66
JFE物流	106	106
Jーロジテック	3	3
JFEケミカル	3,432	3,073
ケーブラシート	34	29
JFEライフ	502	489
合計	16,108	13,919

■ JFEエンジニアリンググループ子会社の水受入量(2023年度)

会社名	受入量(単位：千t)
J&T環境	1,170
北日本機械	0.006
東北ドック鉄工	0.02
富士化工	0.02
合計	1,170

※ 2023年度実績より、(株)Jファームの水受入量はJFEエンジニアリングに含まれます

※ 2023年度実績より、JFE環境サービス(株)の水受入量はJ&T環境(株)に含まれます

環境マネジメント

■ 環境マネジメントシステム

項目		対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ISO14001 認証の カバー率	拠点	全社	%	58	58	54	52	52
		ST Gr	%	21	21	18	44	44
		EN Gr	%	9	9	8	44	43
		SH Gr	%	28	28	27	64	64
	従業員	全社	%	74	70	68	67	72
		ST Gr	%	75	74	72	70	72
		EN Gr	%	60	51	50	50	47
		SH Gr	%	92	89	83	81	80
環境監査(サイト数)		ST Gr	カ所	32	24	29	28	27
		EN Gr	カ所	48	28	52	50	52
環境教育実績(のべ受講者数)		EN Gr	名	1,063	731	1,131	889	897

■ 環境会計

環境保全コストの内訳		2022年度		2023年度	
		投資額 (億円)	費用額 (億円)	投資額 (億円)	費用額 (億円)
マネジメント	環境負荷の監視・測定、EMS関連、環境教育・啓発など	14	27	12	24
地球温暖化防止	省エネルギー、エネルギー有効利用など	55	359	195	365
	工業用水の循環	32	216	49	257
資源の有効活用	自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	14	62	0	57
環境保全	大気汚染の防止	159	312	69	307
	水質汚濁の防止	43	107	18	115
	土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	0	5	0	5
その他	賦課金など	—	14	—	14
研究開発	環境保全(大気、水、土壌など)・省エネルギー・地球温暖化防止のための技術開発	10	105	10	94
社会活動	自然保護・緑化活動支援、情報公開、展示会、広報など	—	7	—	7
合計		327	1,215	352	1,244

集計範囲：JFEスチール、ただし研究開発のみJFEエンジニアリングを含む

■ 環境会計(累計)

項目	対象範囲	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
省エネルギー対策投資累計額	全社	億円	5,321	5,465	5,654	5,708	5,903
環境保全投資累計額	全社	億円	7,276	7,421	7,709	7,971	8,119

社会データ

良質な商品の提供とお客様満足度の向上

顧客に関する研修(2023年度)

研修名	対象範囲	単位	参加人数
海外グループ会社技術報告会(参加者・会社数 ^{※1})	JFE商事	名(社)	93(15)
ナショナルスタッフ研修(NS研修) ^{※2}	JFE商事	名(社)	23

※1 計9カ国より参加。開催方法はオンライン(2024年は対面予定)
※2 計12カ国より参加(タイ・ベトナム・インド・マレーシア・メキシコ・インドネシア・フィリピン・韓国・台湾・カナダ・アメリカ・ドイツ)

人的資本

休業災害

項目		対象範囲 ^{※1}	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
休業度数率・強度率	休業度数率 ^{※2}	JFEスチール	—	0.28	0.23	0.10	0.18	0.06
	強度率 ^{※3}		—	0.30	0.08	0.08	0.08	0.00
	休業度数率 ^{※2}	JFEエンジニアリング	—	0.45	0.35	0.56	0.26	0.28
	強度率 ^{※3}		—	0.62	0.01	0.40	0.01	0.42
	休業度数率 ^{※2}	JFE商事グループ	—	1.00	0.76	0.60	0.25	0.12
	強度率 ^{※3}		—	0.02	0.04	0.05	0.02	0.03
	休業度数率 ^{※2}	製造業平均	—	1.20	1.21	1.31	1.25	1.29
	強度率 ^{※3}		—	0.10	0.07	0.06	0.08	0.08
休業災害件数	休業災害件数	JFEグループ	件	49	36	26	25	12
	死亡災害件数		件	6	1	2	1	1
	休業災害件数	JFEスチール	件	30	23	10	18	6
	死亡災害件数		件	4	1	1	1	0
	休業災害件数	JFEエンジニアリング	件	11	7	11	5	5
	死亡災害件数		件	2	0	1	0	1
	休業災害件数	JFE商事グループ	件	8	6	5	2	1
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0

項目		対象範囲※1	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
従業員の休業災害	休業災害件数	JFEグループ	件	18	15	10	13	6
	死亡災害件数		件	1	0	0	1	0
	休業災害件数	JFEスチール	件	10	9	5	11	4
	死亡災害件数		件	1	0	0	1	0
	休業災害件数	JFEエンジニアリング	件	2	2	1	0	1
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0
	休業災害件数	JFE商事グループ	件	6	4	4	2	1
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0
請負会社従業員の休業災害	休業災害件数	JFEグループ	件	31	21	16	12	6
	死亡災害件数		件	5	1	2	0	1
	休業災害件数	JFEスチール	件	20	14	5	7	2
	死亡災害件数		件	3	1	1	0	0
	休業災害件数	JFEエンジニアリング	件	9	5	10	5	4
	死亡災害件数		件	2	0	1	0	1
	休業災害件数	JFE商事グループ	件	2	2	1	0	0
	死亡災害件数		件	0	0	0	0	0

※1 集計範囲：[スチール、エンジニアリング]国内単体(協力会社および請負会社を含む)、
[商事グループ]国内単体および国内グループ会社(協力会社および請負会社を含む)

※2 休業度数率＝休業以上災害発生者数／延労働時間数×1,000,000

※3 強度率＝労働損失日数／延労働時間数×1,000

■ 安全衛生に関する研修(2023年度)

項目	単位	参加人数*
管理監督者に対する研修	名	400
新入社員および階層別教育にてメンタルヘルス教育	名	1,600

※ 事業会社3社の合計

■ 労働安全衛生

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度
ISO45001 認証取得事業所の割合	JFEスチール	%	33	100	100

■ 健康

項目	対象範囲	単位	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
特定保健指導実施率※1	JFEスチール	%	64.2	53.0	72.2	71.1	—
	JFEエンジニアリング	%	39.6	39.1	39.4※3	42.7	—
	JFE商事	%	36.0	41.6	52.1※3	35.0	—
喫煙率	JFEスチール※2	%	31.8	29.0	27.3	26.6	25.8
	JFEエンジニアリング	%	26.4	23.3	22.9	22.3	21.8
	JFE商事	%	24.9	24.9	21.5	21.9	20.6
メタボリックシンドローム率	JFE健康保険組合加入者 (40歳以上)	%	35.6	36.5	36.3	36.0	36.3
被扶養者健診受診率	40歳以上	%	51.5	46.3	51.3	52.3※3	53.8

※1 2023年度のデータは確定次第追記予定

※2 JFEスチールの喫煙率は暦年で管理

※3 精度向上のため、数値を遡及して修正

■ 従業員 (2023年度^{※1)}

項目		連結／単体	単位	JFE スチール	JFE エンジニアリング	JFE商事
従業員数		連結※2	名	43,081	10,466	8,618
男性	名		37,419	9,019	4,970	
女性	名		5,662	1,447	2,194	
管理職者数※3			名	11,596	3,616	1,712
男性	名		10,712	3,373	1,363	
女性	名		884	243	216	
女性管理職比率			%	7.6	6.7	13.7
従業員数		単体	名	14,599	3,646	1,051
男性	名		13,351	3,094	618	
女性	名		1,248	552	433	
課長級以上管理職者数※3			名	1,659	1,685	617
男性	名		1,625	1,627	555	
女性	名		34	58	62	
女性管理職比率			%	2.0	3.4	10.0
採用者数			名	455	162	66
男性	名		392	131	40	
女性	名		63	31	26	
定期	名		328	91	43	
キャリア	名		127	71	23	
勤続年数(平均)			年	17.1	15.8	12.9
男性	年		16.8	15.8	12.8	
女性	年		20.3	15.4	12.9	
離職率※4(計2.7%)			%	2.6	3.0	2.8
高年齢者数※5			名	862	50	26
高年齢者比率※5			%	5.9	1.4	2.5
年休取得日数(平均)			日/年	18.4	19.4	16.1
所定外労働時間(平均)			時間/月	24.9	26.0	30.2
育児短時間勤務者(延べ人数)			名	82	70	67
男性従業員の育児休業等取得率※6			%	91	94	93
男女の賃金の差異※7(全労働者)			%	79.5	65.1	66.2
正社員	%		80.0	65.1	66.4	
パート・有期社員	%		71.1	57.8	58.1	
派遣社員人数			名	146	670	27

- ※ 1 人員構成(管理職者数および派遣社員数を除く)は、2024年3月31日時点、管理職者数および派遣社員数は2024年4月1日時点、その他は2023年度の実績
- ※ 2 集計範囲：事業会社・その連結子会社(スチール：133社、エンジニアリング：81社、商事：88社)、JFE商事の米州地域は性別従業員数および性別管理職者数を調査をしていないため性別集計から除く
- ※ 3 JFE商事の管理職者数は出向者を含む
- ※ 4 全在籍者に対する自己都合退職者の割合
- ※ 5 JFEスチールおよびJFEエンジニアリングは60歳以上の現役社員を含む(定年年齢を65歳へ引き上げているため)
- ※ 6 育児休業等と育児目的休暇の取得割合=(育児休業等をした男性労働者の数+小学校就学前の子の育児を目的とした休暇制度を利用した男性労働者の数)／配偶者が出産した男性労働者の数
- ※ 7 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の規定に基づき算出したもの

■ 採用(事業会社 3 社合計) (2024年度新卒・2023年度キャリア入社)

項目	単位	総合職			現業職	総計
		事務系	技術系	計		
男性	名	117	227	344	219	563
女性	名	71	33	104	16	120
総計	名	188	260	448	235	683
女性比率	%	37.8	12.7	23.2	6.8	17.6

■ 障がい者雇用(各年6月1日時点)

項目	対象範囲	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
障がい者雇用率	JFEスチール	%	2.48	2.51	2.51	2.57	2.52
	JFEエンジニアリング	%	2.23	2.37	2.53	2.58	2.83
	JFE商事	%	2.50	2.39	2.39	2.66	2.74

■ 人材育成

項目	対象範囲	単位	2022年	2023年
一人当たり研修時間	JFEスチール	時間/年	45.2	44.9
	JFEエンジニアリング	時間/年	20.9	23.4
	JFE商事	時間/年	20.1	22.1
DX人材の育成(累計)	JFEスチール	名	—	610
	JFEエンジニアリング	名	—	179

コミュニティ

社会貢献活動(2023年度)

活動		対象範囲	単位	実績
インターンシップ実績	JFEグループ		名	1,707
	JFEスチール		名	659
	JFEエンジニアリング		名	688
	JFE商事		名	360
支援物資量(ガーナ、ナイジェリアの小学校)	机・イス	JFE商事	セット	435
	ノート		冊	17,000
	缶詰		缶	12,500

JFE21世紀財団(2023年度)

助成		件数(件)	助成金額 (万円)
技術研究助成(累計)		738	148,380
技術研究助成(2023年度)	鉄鋼技術研究	13	2,600
	地球環境・地球温暖化防止技術研究	15	3,000
アジア歴史研究助成(累計)		174	26,100
アジア歴史研究助成(2023年度)		12	1,800
活動		寄贈数(部)	
海外子女文芸作品コンクールへの協賛と文集の寄贈 (鉄鋼に縁のある地域の小・中学校、図書館等*)		2,200	

※ 寄贈先：小・中学校650校、図書館70館 等

ガバナンスデータ

コーポレートガバナンス

■ コーポレートガバナンス体制

2024年7月1日時点

項目名		体制の概要
機関設計の形態		取締役会・監査役(監査役会)設置会社
取締役の人数(名)		8
	独立社外取締役	3
	女性取締役	1
監査役の人数(名)		5
	独立社外監査役	3
	女性監査役	1
取締役の任期(年)		1
社外取締役の任期(年)		1
執行役員制度の採用		有
取締役会の任意諮問委員会		指名委員会および報酬委員会

■ 取締役・監査役

2024年7月1日時点

役職		名前	重要な兼職	独立役員	2023年度 取締役会 出席回数	2023年度 監査役会 出席回数
取締役	社内	きたの よしひさ	公益財団法人JFE21世紀財団理事長	—	16回/16回 (100%)	—
		北野 嘉久				
		ひろせ まさゆき	JFEスチール株式会社代表取締役社長	—	—	—
		広瀬 政之				
		てらはた まさし	JFEスチール株式会社取締役 公益財団法人JFE21世紀財団専務理事	—	16回/16回 (100%)	—
		寺畑 雅史				
		こばやし としのり	JFE商事株式会社代表取締役社長	—	13回/16回 (81%)	—
		小林 俊文				
	社外	ふくだ かずよし	JFEエンジニアリング株式会社 代表取締役社長	—	—	—
		福田 一美				
		やまもと まさみ	—	○	16回/16回 (100%)	—
		山本 正巳				
		あんどう よしこ	キリンホールディングス株式会社社外取締役 三精テクノロジーズ株式会社社外取締役	○	16回/16回 (100%)	—
		安藤 よし子				
		こばやし けいいち	古河電気工業株式会社取締役会長 株式会社N T T データ社外取締役	○	—	—
		小林 敬一				
監査役	社内	はら のぶや	JFEスチール株式会社監査役	—	16回/16回 (100%)	19回/19回 (100%)
		原 伸哉				
		あきもと なかば	JFEエンジニアリング株式会社監査役 JFE商事株式会社監査役	—	16回/16回 (100%)	19回/19回 (100%)
		秋本 なかば				
	社外	さいき いさお	阿部・井窪・片山法律事務所パートナー弁 護士	○	16回/16回 (100%)	19回/19回 (100%)
		佐長 功				
		めまがみ つよし	早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究セ ンター研究院教授 東京センチュリー株式会社社外取締役 株式会社荏原製作所社外取締役	○	16回/16回 (100%)	19回/19回 (100%)
		沼上 幹				
		しまむら たくや	A G C株式会社取締役会長 株式会社荏原製作所社外取締役	○	16回/16回 (100%)	19回/19回 (100%)
		島村 琢哉				

※ 広瀬政之氏、福田一美氏および小林敬一氏は、本年の定時株主総会（2024年6月25日開催）において新たに取締役に選任されました

■ 指名委員会・報酬委員会

2024年7月1日時点

項目	構成人数 (名)	委員長	2023年度 開催回数(回)
指名委員会	6	山本 正巳 (社外取締役)	6
社内取締役	2		
社外取締役	2		
社外監査役	2		
報酬委員会	6	小林 敬一 (社外取締役)	3
社内取締役	2		
社外取締役	2		
社外監査役	2		

■ 業務執行体制

会議体	社名	議長	出席者
グループ経営戦略会議	JFEホールディングス	社長	社内取締役（事業会社社長3名を含む）、執行役員、常勤監査役
経営会議	JFEホールディングス	社長	社内取締役（事業会社社長3名を除く）、執行役員、常勤監査役
	各事業会社	社長	取締役、主要な執行役員、監査役

■ 役員報酬

2023年度

役員報酬等の内容						
役員区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円) ※1				対象となる 役員数 (名)
		基本報酬	賞与	株式報酬※2		
				業績連動部分	在任期間部分	
取締役(社外取締役を除く)	320,247	217,415	61,840	27,328	13,664	5
監査役(社外監査役を除く)	78,335	78,335	—	—	—	2
社外役員	106,697	106,697	—	—	—	6

※1 取締役（社外取締役を除く）に対する業績連動報酬等として、賞与と株式報酬の業績連動部分を設けており、当事業年度に係る業績連動報酬の総額は89,168千円です

※2 取締役（社外取締役を除く）のみを対象としており、全額が非金銭報酬等であります。当事業年度に係る株式報酬として費用計上を行う非金銭報酬等の総額は40,992千円です

役員報酬等の総額が1億円以上である者の役員報酬等の総額等								
氏名	役名	社名	連結報酬等の 総額 (千円)	連結報酬等の 会社別の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額 (千円)			
					基本報酬	賞与	株式報酬	
							業績連動 部分	在任期 間部分
北野 嘉久	取締役	JFEホールディングス	185,813	12,000	12,000	—	—	—
	取締役	JFEスチール		173,813	108,043	36,490	19,520	9,760
寺畑 雅史	取締役	JFEホールディングス	102,979	102,979	68,567	22,700	7,808	3,904
柿木 厚司	取締役	JFEホールディングス	188,467	188,467	120,047	39,140	19,520	9,760
大下 元	取締役	JFEホールディングス	103,244	8,400	8,400	—	—	—
	取締役	JFEエンジニアリング		94,844	60,764	19,440	9,760	4,880
小林 俊文	取締役	JFEホールディングス	106,750	8,400	8,400	—	—	—
	取締役	JFE商事		98,350	55,800	27,910	9,760	4,880

各報酬の支給割合		
基本報酬：固定報酬 (%)	年次賞与：短期業績連動 (%)	株式報酬：中長期業績連動 (%)
60	20	20

※ 上記支給割合は、当社社長が業績目標を達成した場合の割合です

内部統制体制

2024年4月1日時点

内部統制体制			
項目		社数(社)	設置人数(名)
内部監査	内部監査組織	60	168
監査役監査	常勤監査役	29	34
	派遣監査役 (非常勤監査役)	25	7
監査役の連携			
項目	2023年度の会合回数(回)		
会計監査人	10		
内部監査部門	8		

コンプライアンス

内部通報

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度
企業倫理ホットライン利用件数	JFEホールディングスおよび 事業会社	件	133	127	134

独立第三者の保証報告書



Sustainability Accounting Co.,Ltd.

独立第三者の保証報告書

2024年9月24日

JFE ホールディングス株式会社

代表取締役社長（CEO） 北野 嘉久 殿

株式会社サステナビリティ会計事務所

東京都千代田区麹町 2-4

代表取締役 福島隆史

1.目的

当社は、JFE ホールディングス株式会社（以下、「会社」という）からの委嘱に基づき、2023年度 JFE グループの、CO₂ 排出量（Scope1）47.4 百万 t-CO₂、（Scope2）7.3 百万 t-CO₂、（Scope3 カテゴリー1,2,3,4,5,6,7,15 計）22.7 百万 t-CO₂e、エネルギー消費量 612PJ ならびに水受入量 226 百万 t、JFE スチールグループの副産物排出量 10.1 百万 t、JFE エンジニアリンググループの廃棄物排出量 0.19 百万 t（以下「環境パフォーマンス指標」という）に対して限定的保証業務を実施した。本保証業務の目的は、環境パフォーマンス指標が、会社の定める算定方針に従って算定されているかについて保証手続を実施し、その結論を表明することにある。環境パフォーマンス指標は会社の責任のもとに算定されており、当社の責任は独立の立場から結論を表明することにある。

2.保証手続

当社は、国際保証業務基準 ISAE3000 ならびに ISAE3410 に準拠して本保証業務を実施した。当社の実施した保証手続の概要は以下のとおりである。

- ・算定方針について担当者への質問・算定方針の検討
- ・算定方針に従って環境パフォーマンス指標が算定されているか、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施

3.結論

当社が実施した保証手続の結果、環境パフォーマンス指標が会社の定める算定方針に従って算定されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

会社と当社との間に特別な利害関係はない。

以上